

入所から退所までの流れ (標準12ヶ月)

※一人ひとりに担当がつき、今後の生活について一緒に考えていきます。

入所

オリエンテーション
プログラム
(3週間)

訓練プログラム
(1クールは4ヶ月)

地域移行支援
プログラム

退所



こちらから紹介
動画をご覧いた
だけます。

面会・外出・外泊について

外泊、外出、面会は可能です。

但し、単独で外出や外泊する場合は、安全性が確認できてから可能となります。

※ 週末や祝日、お盆、正月は外泊される方が多いです。

ご案内

- 対象年齢：15歳～64歳
- 訓練の対象者：病気や事故により、高次脳機能障がいのある方、身体に障がいのある方
- 利用開始にあたって：お住いの市区町村が発行する「障がい福祉サービス受給者証」が必要です。

※ 意識が低下している、全介助、常時見守り等が必要な方など、集団での生活や訓練に支障がある場合は、受け入れできません。

【ホームページのQRコード】

障がい者自立センターHP



大阪府立障がい者自立センターの
見学や利用等のお問合せは、
利用相談担当者まで

電話 :06-6692-2971

所在地:大阪市住吉区大領 3-2-36

自分らしい生活をめざして

脳のケガや病気によって起こる
『見えない障がい』
をご存じですか？



事故の後、忘れっぽく
なったけど、そのこと？

私は集中できなくなった
気がする



もしかしたら
『高次脳機能障がい』
かもしれません



©2014 大阪府もずやん

大阪府立障がい者自立センター
(障害者総合支援法に基づく障がい者支援施設です。)

このような方が利用されています

病院
治療・リハビリ

生活リハビリ

病気・ケガ
の発症

普段の
生活

『自立センター』は、この部分、
「生活リハビリテーション」
を行います。

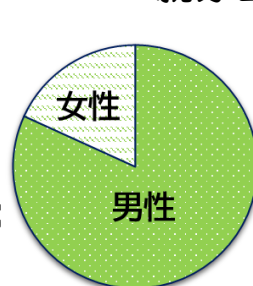
暮らしたい場所

- ・単身生活、家庭
- ・グループホーム など

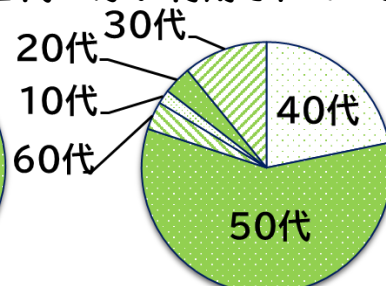
やりたいこと

- ・仕事（復職、新規就労）、復学
- ・福祉的就労（就A・B）
- ・スポーツ、ボランティア など

就労世代の方が利用されています。



男女比



年齢



目的

復職や再就労を目標とする方が多いです。

自立センターでの訓練

生活の土台づくり

生活リズムを整え、一日動ける体づくりをめざす

- 時間割方式で生活を習慣化
- 1日のスケジュール管理能力
- 家庭生活を想定した生活実習
- 外出泊で実生活での実践的リハビリ

仕事の土台づくり

障がい正しく理解できることが再就労の一步です

- グループワークで症状と対処方法、利用できる制度について学ぶ
- 模擬的な就労課題を通して仕事への影響度を把握する

生活リハビリテーションを経て 再スタートした事例

「病院では何も困らないし、早く仕事に戻らないと!」と、自宅へ退院して会社へ復職

復職したけれど...

「集中力が続かない、ミスが多い」と指摘を受け、会社を解雇された。

再就職をめざして...

「面接でうまくいかない」「就職できたけど、研修期間が終わって契約を継続してもらえなかった」と再就職は何度挑戦してもうまくいかなかった。

「自立センター」のことを知って、入所
➢ 入所して同じような仲間がいることを知った。

- プログラムや専門スタッフからのアドバイスで自分のことを知ることができた。
- 苦手になっているのは、後遺症（障がい）が原因だとわかった。
- トレーニング方法と苦手なことを補完する方法（代償手段）を学んだ。
- 生活や就労に関するサービスを知った。

単身生活と新規就労を実現できた。
現在は、いつでも相談できる相談機関と連絡を取り合いながら、元気に生活を楽しんでいる。